



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目）													
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目						○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様化・複雑化する社会を理解する力		2. “生きること”につながる専門性				3. 自分を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れない挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力		7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力	
					知識						姿勢			行動				
A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C			A-1	D-1	D-2							
25MLAR1212	景観建築設計総合演習B	1	基本構想から基本計画、基本設計に至る、プロセスを重視した建築・景観設計に取り組むことを目的とする。これにより、今後の実務実習等において必要となる実践的な設計能力を伸ばす。	プロセスを重視した課題による建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を修得し、真に人間的かつ自然環境と共生した住環境を創生する実践的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	
25MLAR2212	修士設計	2	5年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見を空間構成として総合化し、その成果を建築・景観設計にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築・景観設計技術者として、社会で自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすい、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
25MLAR2202	修士論文	2	5年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見に基づき論理的展開を進め、その成果を学術論文にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築・景観設計技術者として、あるいは専門家、研究者として自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすい、美しい、真に人間的な住環境を創生するために重要な問題解決能力を実践的に修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
25MLAR1322	建築家の職能と倫理	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、一人の人格としての建築家の職能、社会的役割、責任、倫理、建築家を取り巻く社会問題に関する実践的な知識・能力を修得することを目的とする。	建築家を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を修得し、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。							◎	◎	◎					
25MLAR1324	建築計画マネジメント論	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、建築や都市の計画・開発から設計・工事監理に至る幅広い業務に携わる専門家として必要な倫理と実務的な業務の流れを学ぶ。設計・工事監理業務を適正かつ円滑に進めるための、幅広くかつ実践的なマネジメント知識・能力を修得することを目的とする。	コスト、スケジュールなど様々な制約条件と、建築設計・工事監理を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解した上で、自律的活動ができる職能人として、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。				◎			◎	◎	◎		○	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目）													
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目						○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様化・複雑化する社会を理解する力	2. “生きること”につながる専門性			3. 自分を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力				
					知識						姿勢			行動				
A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C			A-1	D-1	D-2							
25MLAR1361	建築構造設計論 A	1	建築設計における構造計画・構造設計は、建築の形態や空間に大きな影響を与えるとともに、建築の物理的存在を保証するものであり、その技術は建築技術者の素養として必須となっている。実務上における構造設計の体系や規範を学習し、建築設計における構造設計の重要性と、その基礎的技術を実践的に修得することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計にかかわる基礎的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する実践的能力を修得する。		◎												
25MLAR1362	建築構造設計論 B	1	より高度な構造システムや構造設計の実例を通して、現代建築に用いられている先進的な構造システムや構造設計を実践的に学ぶ。これにより、現代建築における構造設計の重要性と、その実践的技術を修得することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計にかかわる先進的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する実践的能力をより向上させる。		◎												
25MLAR1341	建築環境設備設計論 A	1	建築設計における設備設計および環境計画の実例を通して、地球環境問題の解決と快適な生活環境の確保において、設備設計、環境計画が果たしている役割を学ぶ。これにより、今後の実務実習の意義を高める上で重要な、建築設計における設備設計や環境計画の重要性と、これらの基礎的技術を実践的に修得することを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、設備設計と環境計画にかかわる基礎的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する実践的能力を修得する。			◎			○								
25MLAR1342	建築環境設備設計論 B	1	最新の建築設備や省エネルギー技術を取り入れた建築の実例を通して、地球環境問題の解決と快適な生活環境の確保という2つの問題を、設備設計、環境計画によって解決する実践的手法を学ぶ。これにより、低炭素時代における設備設計や環境計画の重要性と、これらの実践的技術を修得することを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、設備設計と環境計画にかかわる先進的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する実践的能力をより向上させる。			◎			○								
25MLAR1381	建築施工管理論	1	建築生産の流れや契約、積算、生産計画の立案、各工事の施工や施工管理の技術について実践的に学習する。適切な設計・施工計画を行う能力を身につけ、是正・予防措置についても理解する。これにより、施工管理等の実務実習に参加する上で重要な、実践的知識をあらかじめ修得することを目的とする。	コスト、スケジュールなど、建築生産、施工プロセスにおける様々な制約条件をより実践的に理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる実践的能力を修得する。				◎		○	○	○						





